

作成日：西暦 2022 年 6 月 26 日

研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名：腹水濾過濃縮再静注法における濾過膜洗浄量と治療結果の検討
～後ろ向き研究～

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

1. 研究の対象

2019 年 8 月～2026 年 7 月に当院で腹水濾過濃縮再静注法を受けられた方

2. 研究目的・方法・研究期間

難治性腹水症に対する腹水濾過濃縮再静注法では、採取した原腹水を全量処理することで腹水中の蛋白成分を効率よく回収できます。しかし、原腹水を濾過する途中に濾過膜の目詰まりが生じて、濾過膜洗浄が必要となる症例が一定数存在します。そして、濾過膜洗浄時には濾過器内の原腹水の一部が廃棄されて蛋白回収率の低下につながります。廃棄腹水量は膜洗浄量によって決まるため膜洗浄量を減量する必要がありますが、洗浄が不十分であると原腹水処理量が減少する可能性があります。このため、蛋白回収率と膜洗浄量や原腹水処理量の関係を検討します。

当院血液浄化センターで腹水濾過濃縮再静注法を施行した症例を対象として、治療は血液浄化センター腹水濾過濃縮再静注法操作手順書に従い施行します。治療記録より原腹水採取量、処理後腹水量、経過記録などを抽出します。また、当院電子カルテより原疾患、腹水検査結果などのデータを後ろ向きに調査します。研究期間は倫理審査委員会承認日～2027 年 5 月 31 日とします。

この研究は、企業等からの資金提供は受けていません。また、この研究に関連する企業と研究者等との間に、開示すべき利益相反はありません。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：生年月日、原疾患、腹水濾過濃縮再静注法治療記録、腹水検査結果等

4. 外部への試料・情報の提供

なし

5. 研究組織

藤田医科大学病院 臨床工学部 主任 山田幸恵

6. 除外の申出・お問い合わせ先

情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

藤田医科大学 臨床工学部 血液浄化センター

担当者：山田幸恵

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

電話 0562-93-2237,2239

e-mail:sachiey@fujita-hu.ac.jp